

令和2年度 決算 まちの 財政状況

令和2年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の歳入（収入）と歳出（支出）の状況をお知らせします。

まちのお金は 3つの会計で管理

まちのお金は一般会計、特別会計、水道事業会計の3つに大別されています。

一般会計は、福祉や保健衛生、産業、道路、教育など、全町民を対象とした事業のためのお金です。特別会計は、国民健康保険や公共下水道、簡易水道、介護保険、後期高齢者医療それぞれの事業を行うためのお金です。水道事業会計は、独立採算制の地方公営企業として水道事業を行うためのお金です。

性質別と目的別

依存財源とは、補助金や地方交付税など、国や北海道に依存している財源です。

歳出は、性質別と目的別の2つの角度から見ること、どんな分野にどのくらいお金が使われているのかを把握することができます。

歳出(支出)の内訳

歳出の円グラフ（上段）にある「義務的経費」とは、人件費や公債費など、毎年必ず支出しなければならぬ経費です。27億9458万8千500円（前年度比3億540万9千円の増）で歳出全体の14.3%を占めています。

「投資的経費」とは、道路や建物など公共施設の新築や改築、災害復旧などを行うための経費です。29億8330万3千円（前年度比3億9363万円の減）で全体の15.2%を占めています。

「その他の経費」とは、繰出金や補助費、施設の維持管理に要する補修費などの物件費です。137億9667万5千円（前年度比37億7841万1千円の増）で全体の70.5%を占めています。

令和2年度の決算

令和2年度の一般会計の決算は、歳入総額198億412万1千円、歳出総額195億7456万3千円になりました。

歳入歳出の差引額は2億295万8千円となり、このうち翌年度へ繰り越す事業の財源が、443万5千円です。実質、2億2512万3千円の黒字となりました。

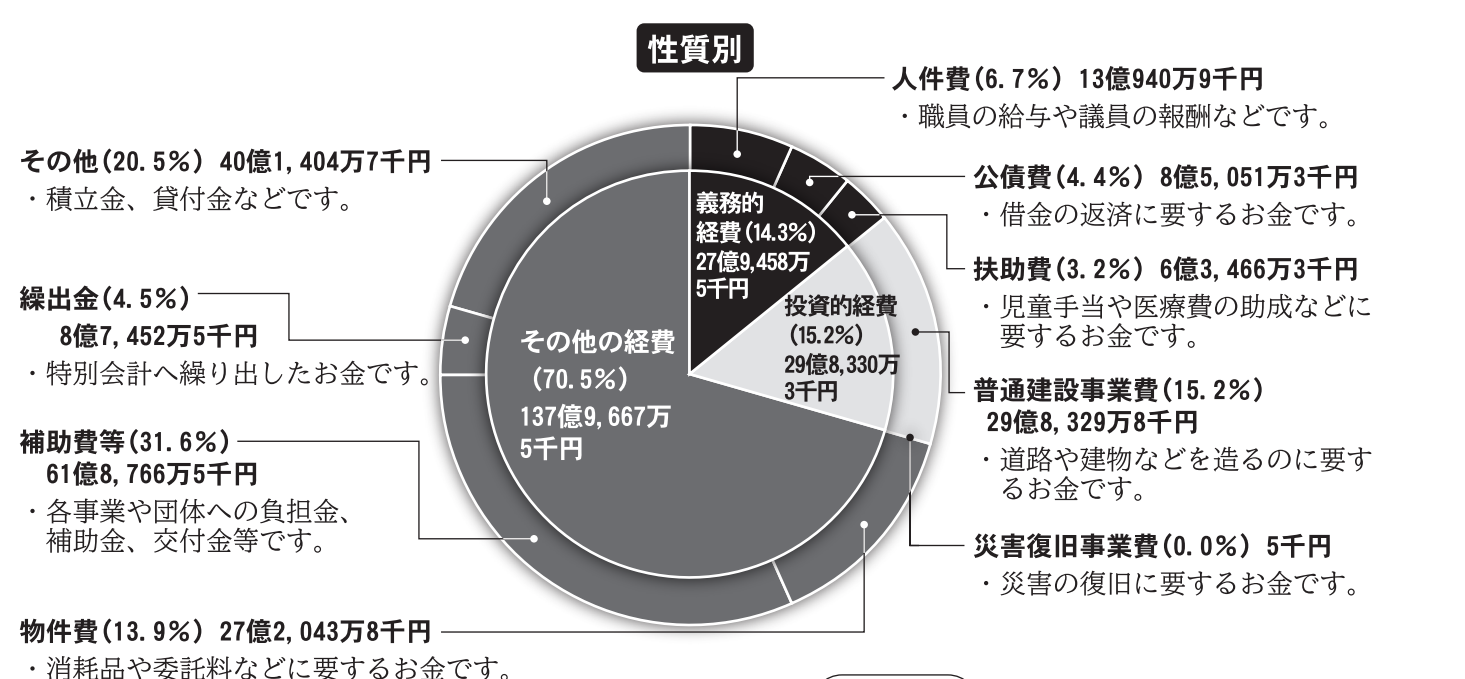
歳入(収入)の内訳

歳入の内訳は、町税が10億3651万円で全体の5.2%（前年度6.5%）を占めています。前年度決算額10億4353万5千円と比較すると702万5千円の減額となっています。

寄附金は97億5244万円で全体の49.2%を占めています。このうち、ふるさと納税によるものは97億3435万6千円でした。

自主財源と依存財源

自主財源とは、皆さんが納めた税金や使用料、寄附金など、町が自主的に収入することができる財源です。



一般会計 歳出 195億7,456万3千円

